

1. 研究課題名

切除不能非小細胞肺癌患者におけるロルラチニブ投与中の COVID-19 の臨床的特徴
および転帰の解明

2. 試料・情報

(1) 利用目的

2019年12月に始まった新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、現在も世界的な問題となっています。名古屋市立大学のグループでは「ロルラチニブ」という薬で重症の COVID-19 に罹患したマウスに治療を行ったところ、COVID-19 の回復率が上がり、肺のウイルス量も減ることが確認されました。これは、感染の初期段階で特定の細胞の動きを抑えることで、重症化を防げる可能性を示しています。「ロルラチニブ」は臨床現場では非小細胞肺癌の方に処方されている「ロープレナ錠」というお薬です。本研究では、非小細胞肺癌の方を対象に、「ロルラチニブ」を使っていた人と使っていなかった人の COVID-19 の経過を比較し、この薬の効果を明らかにすることを目指しています。

研究期間は承認日から2028年3月31日までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2020年1月～2026年12月までに COVID-19 のために当院を受診・入院した非小細胞肺癌の方の診療記録を利用して行います。

利用する情報は、年齢、性別などの背景情報、病歴、非小細胞肺癌関連情報、体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度、COVID-19 の重症度、血液検査所見、画像所見、COVID-19 治療中の治療内容、合併症および治療終了時の状態などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

本研究は多機関共同研究（研究代表者：伊東 直哉、所属：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター）であり、当センター（院長 中島淳）は名古屋市立大学医学部附属東部医療センター（研究代表者：伊東 直哉）に、診療記録から得られた情報を提供します。その際、個人を識別できる情報は削除いたします。ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報を提供したのか、後からでもわかるように管理をいたします。提供を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター	感染症科	上田 晃弘（研究責任者）
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター		伊東 直哉（研究代表者）
国立健康危機管理研究機構	国立国際医療センター	石金 正裕（研究責任者）
静岡県立静岡がんセンター		倉井 華子（研究責任者）
大阪大学医学部附属病院		山田 知美（研究責任者）

藤田医科大学病院
名古屋大学
北海道がんセンター
神戸大学医学部附属病院
筑波メディカルセンター病院
がん研究会 有明病院
名古屋市立大学
東京都立駒込病院
佐賀大学医学部附属病院
大阪大学感染症総合教育研究拠点
横浜市立大学附属病院
東京科学大学病院
国立がん研究センター中央病院

花井 翔悟（研究責任者）
岩見 真吾（研究責任者）
藤田 崇宏（研究責任者）
大路 剛（研究責任者）
寺田 教彦（研究責任者）
武田 孝一（研究責任者）
福光 研介（研究責任者）
福島 一彰（研究責任者）
中島 千穂（研究責任者）
松浦 善治（研究責任者）
田代 将人（研究責任者）
園田 史朗（研究責任者）
小林 治（研究責任者）

（４）管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

３．参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

４．問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604

担当：感染症科 上田 晃弘